



第三十八筆

駑馬十駕

「中国の言葉で“どばじゅうが”と読みます。“駑馬”は足の遅い馬で、鈍才の例えですね。“駕”は馬が車を引いて進む一日の行程のこと。駑馬でも十日歩き続ければ駿馬が一日で走る千里の道を行くことができるという意味です。日本語では“継続は力”という意味ですかね。ずっとしっかり努力すれば成果が得られる。私がやっている大道芸に関しても才能があったわけではなく、毎日しっかり練習して、人に見せられるようになるんです。大切にしている言葉ですね」

武田双龍

最高の一画が表現できるまで、日々筆を執っています。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
ピーター・フランクル

